

きみのいる家 ～絵本『てんからのおくりもの』より～

触れるヴァーチャルリアリティ+映像アニメーション作品

THE HOME WHERE YOU'RE HERE -PICTURE BOOK "A GIFT FROM HEAVEN"-
The Virtual reality which touches + Moving picture

金澤 麻由子 芸術工学部映像表現学科 実習助手

Mayuko KANAZAWA Department of Image Arts, School of Arts and Design, Assistant

要旨

本作「きみのいる家」は、2016年7月に出版した絵本『てんからのおくりもの』のメッセージ「花を贈る無償の愛」をコンセプトに、主人公の「てん」があたかも空中で巣から飛び出し、眼前にせまって花を贈るかのようなアートディスプレイであり、絵本の世界観を映像インスタレーション作品として制作したものである。空中結像技術を用いたディスプレイを使用することで、空中に浮遊し、観客に近づいては、はかなく消えゆく「てん」の映像アニメーションは、『てんからのおくりもの』のストーリーでありコンセプトである「無常観：もののあはれ」を表現している。2016年8月に銀座ステップスギャラリーにて開催した個展「絵本の時間」展での本作の展示風景とともに制作意図、制作方法などについて考察する。本作品はプロモーションウィンドウとして書店などでも展開した。

Summary

"The home that you're in" is in art display. "Give a flower free love" picture book that was published in July 2016. Its main message is "A gift from heaven". In this art display, main hero "Heaven" is floating and jumping inside its nest, looming in front of the display or giving flowers as gifts. The picture book was adapted as a video installation. The animation of the hero "Heaven", is projected on aerial imaging technologies display. "Heaven" is floating in the air, getting closer to the viewer or fading out into the air. It expresses "A gift from heaven" concept - "impermanence: mono no aware". It was exhibited with commentary and design explanation in Ginza Steps Gallery in August 2016 as part of "Picture book time" exhibition. This work has also been used as a promotional window in book stores.

1. はじめに

本作「きみのいる家」(図1)は、2016年7月に出版した絵本『てんからのおくりもの』の主人公の「てん」があたかも空中で巣から飛び出し、鑑賞者の前に駆け寄って花を贈るかのようなアートディスプレイであり、絵本の世界観を映像インスタレーション作品として制作したものである。空中結像技術を用いたディスプレイ(空中立体映像)を使用することで、空中に浮遊し、観客に近づいては、はかなく消えゆく「てん」の映像アニメーション(図2)は、絵本『てんからのおくりもの』のストーリーでありコンセプトである「無常観:もののあはれ」を表現している。本稿では2016年8月に銀座ステップスギャラリーにて開催した個展「絵本の時間」展での本作の展示風景とともに制作意図、制作方法などについて考察する。本作品はプロモーションウィンドウとして書店など各イベントでも展示公開した。



図1) 空中結像技術による作品「きみのいる家」2016年制作

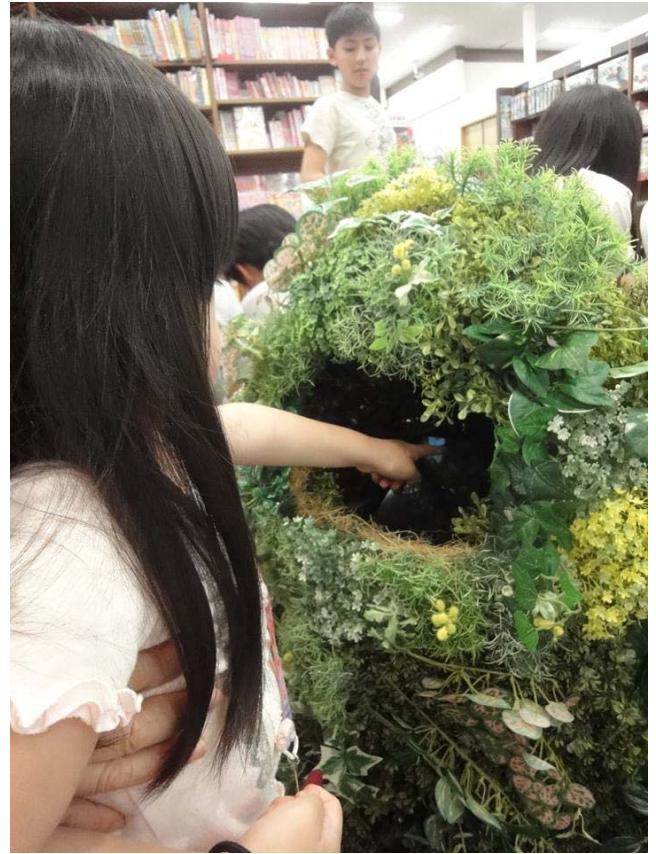


図2) 空中結像された映像に触れようとする女の子

2. 制作意図

絵本『てんからのおくりもの』^(注1)(図3)のストーリーと概要は以下である。(河出書房新社の紹介文より)

「ママどこなの?」おかあさんとはぐれたひとりぼっちの子鹿が、一匹のてんと出会い、冬じたくを共にするなかで芽生えるお互いを思いやる気持ち。やがて、子鹿とてんに長い冬がおとずれ、春になり、寿命を迎えた年老いたてんから贈られた子鹿へのおくりものは、一面の花畑であった。さまよう子鹿と年老いた“てん”が贈る胸が熱くなる感動のストーリー。



図3) 絵本『てんからのおくりもの』

優しく温かそうな巣が、ひとつ。そのなかで、白い「てん」が穴から顔を覗かせて、きょろきょろと辺りを見回して、こちらに駆け寄ってくる。やがて「てん」の手のひらから花が咲き、我々に捧げようと差し出す一連の映像アニメーションは手描きによるものである。絵本『てんからのおくりもの』のコンセプトである「無常観：もののあはれ」を表現するため、感情移入を誘う「可愛い」を表現するため手描き絵画で表現した。可愛い古語である「かはゆし（かわゆし）」には、相手の不幸に同情する気持ちを指す。弱々しいもの、小さきものには、無防備さを感じさせる故に、感情移入させる余白が多く、かえって主張の強いもの以上に心をその対象に引き寄せる「いたわしさ」がある。さらに、不幸だけでなく、自立に向かって気丈に葛藤しているさまにこそ、清らかさを見出し、共感に結びつける「かはゆし」は宿るのだろうと考えた。「可愛い」は、本質的なもの本能的なものであり、いと

しさを、趣き深さなど、何らかの意味で「愛すべし」と感じられる場合に用いられるこの言葉には、無邪気で、あるがままの存在を指している。ただ素朴であるがゆえ、安らぎを生み出していると考える。

また鑑賞者は、中腰で覗きこむ形で鑑賞するため、身体ごと低くかがめて対象に同調させなければならない。この意図するものは、まず鑑賞者に無防備な姿勢になっていただくことで、より作品への感情移入を強めたいと考えたからである。

3. 制作方法

(1) 表現主義の芸術の点描的方法

「表現主義の芸術」の絵画での方法とは、雰囲気や感覚的印象の再現を求める際、説明的な部分を排除し、存在感そのものを描こうとするものである。表現主義では、人間以外の生き物は当然として、その他の空間、時間、ありとあらゆるものに「生命」を認めている。

光、空気、時間が、ひとつひとつが光の宝石のようで、一瞬一瞬に生命があり、森羅万象すべてが存在感を帯びて語りかけてくる世界、そのような思想背景から「表現主義の芸術」の方法のひとつとして点描（ドット）で表現することがあげられる。一粒で表す生命観や存在感を表現する点描（ドット）での描法を用いることで、フラットに感じる空中結像技術による映像に、奥行きと重厚感を与えた。本作の原画166枚には海綿体スポンジによる描画をアクリル絵の具で施した（図4）。



図4)点描スポンジ画法で描かれたアニメーション原画

(2) 方法としてのアニメーション

アニメーションでは、一枚のドローイングが、無数に集積することによって、時間は生み出される。アニメーション表現は、タブローとは質や次元が異なり、一瞬一瞬が完結した存在である一枚の絵が無数に集まることによって有機的な動きになるのだ。それは、人形職人と人形遣いと「たましい」の吹き込みかたの違いに似ているようである。

アニメーション表現においては、時間によって、集合する力が働き、ひとつの独特な有機体を生み出す。アニメーション表現は、動き出すことによって、空間を持ち、生命が匂いたつのである。点描方法と同じく、時間軸においても一瞬一瞬が結晶のように独立した存在であり、人間の時間のなかには、無数の一瞬が存在していること、また、無数の一瞬は、ひとつのアイデンティティを可能にしていることをアニメーションの構造は語っている。ひとつの点は、ひとつの完結した存在であり、命である(図5)。



図5)アニメーション表現・動きの一例。

(3) 空中立体アニメーション

株式会社アスカネット (ASUKANET) のAIプレートは、空中結像技術において特徴を持っている。それは、実像としての価値であり、従来のミスト(霧)のような目に見えにくい物質をスクリーン代わりに用いることや、昨今の3Dテレビのように専用のメガネをかけることなく鑑賞することができる(図6)。AIプレートによって映し出される像は、物体から発せられる光そのものを空中で収束し、その空間位置からさらに光が拡散していく構造である。そのことから実在する対象物が放つ光を見ることと同様に、鑑賞者は空中で広がる光を像として見ることができる。視野角内で観察距離および視線位置が移動しても、AIプレートによって映し出される像に変化は起こることなく、実像としての価値を有している(図7・8)。

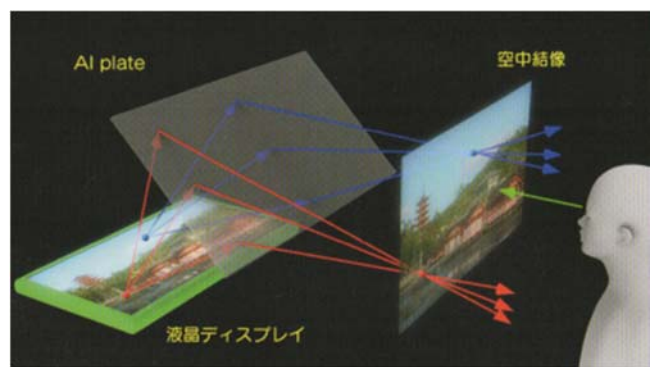


図6)空中結像の仕組み(注2)

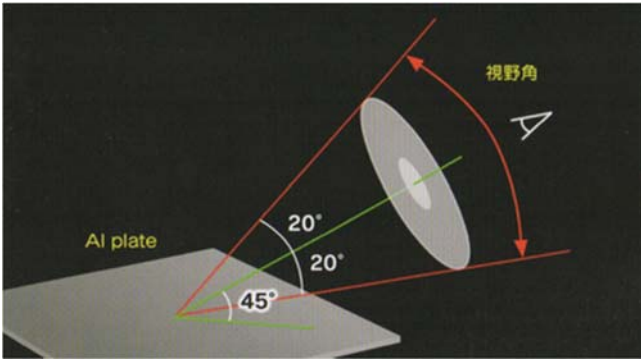


図7) 空中結像技術による映像の仕組み (注3)



図8) 空中結像の映像:カメラでの撮影では表現できない空中感。

4. 今後の展望 (まとめ)

先端技術と手描きの温かさを合わせたメディアアートを実現させたいと制作した作品だったが、作品の課題として、以下のように考察する。

映像に触れる感覚を生む空中結像技術を用いたディスプレイには、手で触れようと試みる観客が多く表現の可能性が大きいと考える。視覚表現だけではなく知覚で捉えられるものにするためのアプローチの手段が必要になってくると言えるだろう。今後は手を感知するセンサー (BlasterX Senz3D Depth Sensing Webcam with High FPS Video Streaming) など最新の各種技術を融合させることにより、視覚、聴覚、触覚などを与えインタラクティブなインターフェースを実現していきたい。また表情認識もできるセンサーであるため、鑑賞者自身が唯一無二性をより体感できることを追求した作品の展開を、今後の指針としたい。

5. 「きみのいる家」主な展覧会イベント報告



図9) 個展 DM

展覧会名「絵本の時間展・金澤麻由子」(図9)

日時: 8月1日(月)~6日(土) 12:00~19:00 (最終日 17:00 まで)

場所: ステップスギャラリー銀座

website: stepsgallery.org/

文部科学大臣賞受賞・絵本

てんからのおくりもの 発売記念イベント

7/9(土) 13時~

※参加費・申し込み不要

日時 7/9(土) 13:00~

場所 大垣書店 神戸ハーバーランド umie 店 キッズスペース

対象 幼稚園~小学生のお子さま

内容

- ①映像と音楽による絵本の読み聞かせ
- ②クイズ「“てん”ってなあに?」
“てん”にまつわる三択クイズ
優勝者には、その場で著者から似顔絵をプレゼント (市成約 15分)
- ③お絵かきワークショップ「ぼく・わたしからのおくりもの」
何をするかは...当日までのお楽しみ!
- ④空中に浮かびあがる“てん”と遊ぼう!
空中に映像を表示する最新アートでの、不思議体験

似顔絵&サインプレゼント (14:30~17:00)

小さい頃に読んだ絵本を覚えていたのは、
そこにたくさんのお思い出が詰まっているから
絵本をプレゼントされたときの思い出...
ママに読んでもらったときの思い出...
お絵かきをして遊んだ思い出...
著者が読んだ絵本と一緒に、思い出に残る1冊として、
絵本をプレゼントしませんか?

「てんからのおくりもの」(税込1600円) 1冊 或いは、
その他金澤麻由子関連商品 (『ぼくぼく』、『ボワン』、グッズ商品) 合計概ね 2500円以上
をご購入頂いた方に、その場で著者が似顔絵をプレゼントいたします。

※似顔絵はスタッフの方で撮影いたします。また、似顔絵を撮影する際に参加いたします。
※ご希望の方は、イベントスタッフへご予約後、レジにてご購入いただき、レジにてお持ちください。

お問い合わせ: 株式会社ワークス ☎078-200-4106

図10) イベントチラシ1 (注4)

展覧会名「絵本『てんからのおくりもの』発売記念」(図10)

日時: 7月9日(土) 13:00~17:00

場所: 大垣書店神戸ハーバーランド Umie 店

イベント説明

来場者数 30 名程度

キッズスペースにて、著作 3 冊の映像アニメーションと音楽による朗読（読み聞かせ）を行い、絵本にまつわるクイズを行い、優勝者に似顔絵を施すイベントである。また、同時にワークショップとして、キャラクターの描かれた大判用紙に、子供たちが考え、描いた「おくりもの」を貼り付け、全員でひとつの作品を作る催しも行った。

文部科学大臣賞受賞・絵本
てんからのおくりもの
 発売記念イベント
7/16(土)
 14時～
 ※参加費 申し込み不要

日 時 7/16(土)14:00～
 場 所 TSUTAYA BOOKSTORE ららぽーと EXPOCITY 店 児童書コーナー
 対 象 幼稚園～小学生のお子さま
 内 容 ①映像と音楽による絵本の読み聞かせ
 ②クイズ「てん ってなあに？」
 “てん”にまつわる三択クイズ
 優勝者には、その場で著者から似顔絵をプレゼント (約15分)
 ③お絵かきワークショップ「ぼく・わたしからのおくりもの」
 何をするかは…当日までのお楽しみ！
 ④空中に浮かびあがる“てん”と遊ぼう！
 空中に映像を表示する最新アートでの、不思議体験

似顔絵&サインプレゼント (15:00～17:30)
 小さい頃に読んだ絵本を覚えていたのは、
 そのときに読んだ思い出がもたらしているから
 絵本をプレゼントされたときの思い出…
 ママに読んでもらったときの思い出……
 お話を聞いて読んだ思い出……
 著者が描いた似顔絵と一緒に、思い出に残る1冊として、
 絵本をプレゼントしませんか？
 『てんからのおくりもの』(ISBN 1600 P) 1冊 選ば、
 その他金澤山由子関連商品 (『ぼくぼく』、『ポワン』、グッズ商品) 合計税後 2500 円以上
 をご購入頂いた方に、その場で著者が似顔絵をプレゼントいたします。
 ※似顔絵はスタッフの方で作成いたします。また、お話を聞かせながら似顔絵を作成いたします。
 ※ご希望の方は、イベントスタッフにご予約ください。レジにてご購入いただいた方に、レシートをお持ちください。

お問い合わせ：集出版ワークス ☎078-200-4106

図 11) イベントチラシ 2 (注 5)

日時：7 月 16 日 (土) 14:00～17:00

場所：TSUTAYA BOOKSTORE ららぽーと EXPOCITY 店 (図 11)

来場者数 80 名程度

キッズコーナーにて、著作『てんからのおくりもの』の映像アニメーションと音楽による朗読（読み聞かせ）を行い、絵本にまつわるクイズを行い、優勝者に似顔絵を施すイベントである。読み聞かせは、1 時間ごとに計 3 回実施。また、同時にワークショップとして、キャラクターの描かれた大判用紙に、子供たちが描いた「花」を貼り付け、全員でひとつの作品を作る催しも行った。

注

(注 1) 著者：かなざわ まゆこ、『てんからのおくりもの』、出版ワークス・河出書房新社、2016 年（おおしま国際手作り絵本コンクール 2011 最優秀賞受賞作。文部科学大臣賞受賞作。A4 全 56 ページ。）

(注 2・3) 作成：株式会社アスカネット CEO 福田幸雄、「たった 1 つの空中表示デバイスが未来を変えていく。- AI plate is a revolution in the image display technology.-」、<http://aerialimaging.tv/>、最終閲覧日：2016 年 11 月 7 日

(注 4・5) 作成：株式会社出版ワークス
 「その他の図は筆者作成・撮影」